

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

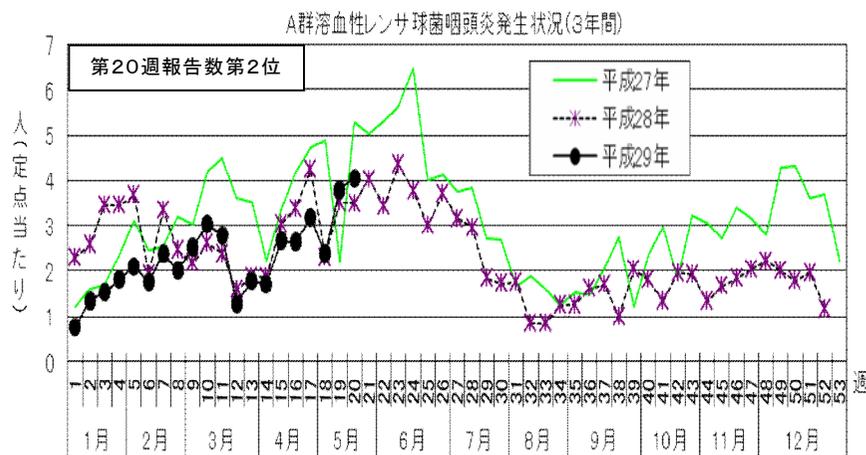
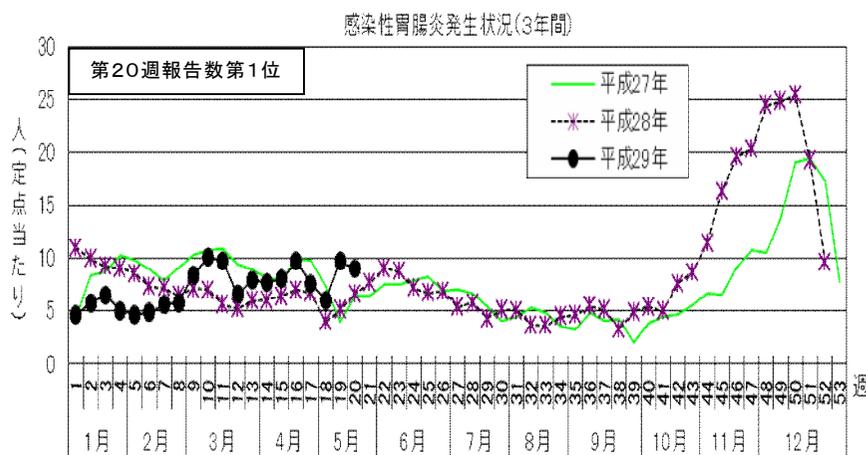
平成29年5月15日（月）～平成29年5月21日（日）〔平成29年第20週〕の感染症発生状況

第20週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 流行性角結膜炎でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は8.97人と前週（9.69人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は4.06人と前週（3.81人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。

流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は2.67人と前週（2.89人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



夏の訪れか？アデノウイルス感染症！！

例年夏に流行する疾患として、咽頭結膜熱や流行性角結膜炎が知られていますが、いずれもアデノウイルスを主な原因とする感染症です。本市においては、昨年4月以降、流行性角結膜炎の報告数が多い状況が続いており、咽頭結膜熱についても、4月下旬以降徐々に報告数が増加してきています。手洗いやタオルの共用を避ける等の予防対策の徹底が重要です。

咽頭結膜熱について

- 感染経路
患者との接触や、せき・くしゃみ等の飛沫により感染します。
- 潜伏期間
5～7日間
- 主な症状
発熱で発症し、のどの痛み、結膜炎等がみられ、通常3～5日間程度続きます。

流行性角結膜炎について

- 感染経路
患者との接触や、ウイルスに汚染されたティッシュ、タオル等との接触により感染します。
- 潜伏期間
8～14日間
- 主な症状
涙が出る、目やにが出る、まぶたが腫れる、目が充血する等の症状を伴い突然発症します。

